

**第2回情報通信機器を用いた診療・服薬指導にかかる実証事業コンサルティング業務
公募型プロポーザル選定委員会 議事要旨**

項 目		内 容
1	日 時	令和7年8月29日13時00分から15時00分まで
2	場 所	本館 R1 会議室 ※提案者は Zoom により出席
3	出席委員	医療介護政策課長、医療介護基盤課長、薬務課長、医療介護保険課長、中山間地域振興課長
4	議 題	プレゼンテーション及び最優秀提案者について
5	担当部署	医療介護政策課 医療政策グループ
6	開催方法	1 参集（オンライン併用） 2 持ち回り
7	議事内容	<p>1 審査方法 事前に提出された提案書を基にプレゼンテーションを実施し、選定委員会で審査の上、最も高い評価点を得た提案者を最優秀提案者として選定した。</p> <p>2 審査結果</p> <p>(1) 審査対象者（公募型プロポーザル参加資格確認申請書の提出順） A社：株式会社メディア B社：株式会社ジェイエムインテグラル C社：デロイト トーマツ リスクアドバイザーリー合同会社</p> <p>(2) 最優秀提案者 審査の結果、B社が最優秀提案者として選定された。</p> <p>(3) 各委員の評価・選定理由（審査対象者ごと）</p> <p>【A社】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実証事業の取組内容の具体性が乏しく、実現可能性や期待される成果が得られるか疑問を感じた。 ・医師等、専門職の配置により高い実効性が期待できる。 各機関の導入システムについてのノウハウに優れる ・具体的な業務内容と経費の内訳が明確でない ・アンケートの実施に当たっての課題認識が弱く、結果が施策提案・検討につながりにくいのではないかと感じた。

		<ul style="list-style-type: none"> ・医師、看護師、薬剤師の資格ある方の体制であり、専門的な見地からも期待ができる。 <p>【B社】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他県実績を踏まえた具体的な事業企画となっており、適切な事業実施が期待できる。 ・医師等、専門職の配置により高い実効性が期待できる。 へき地、巡回診療車、在宅などそれぞれに対応した実績を有する。 課題の詳細把握に優れている。 ・具体的な提案と明確な費用の内訳となっている。 実績もあり、適切な業務実施が期待できる。 ・単なる実証事業でなく、安定的な実装を目指し、次のような具体的な視点・ノウハウが盛り込まれており、事業目的に対する一定の成果が期待できる。 ・オンライン診療において医師と患者をつなげる看護師・薬剤師の役割についても重要視している。 ・患者の視点から見ても安心できる診療環境についての視点（高齢で聞こえに課題がある患者さんへの骨伝導機器の使用など）がある。 ・患者受診シナリオを作成した上で医療者・患者側双方からのアンケートを実施する設計となっている。 ・医師、看護師、薬剤師の資格ある方の体制であり、専門的な見地からも期待ができる。 ・ノウハウ集は作成するだけでなく、周知方法も検討いただきたい。 <p>【C社】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実証事業の取組内容の具体性が乏しく、期待される成果が得られるか疑問がある。特に、医療機関に対する直接支援が重要となるが、その支援内容を具体的に示してほしかった。 ・オンライン診療の業務に関係した多くのスタッフを有する。 ・所定時間内で提案終了ができなかった。 ・3事業の実施スケジュールが明確でない。 ・実装に向け、他県実績での成果の活用が期待できるものの、オンライン診療そのものの安定的な継続要件（機器が円滑に活用されるかだけでなく、看護師さんの移動や現場での対応等における課題等）の深掘が弱い印象。 ・実装の横展開に向けて、実証見学会やオンライン報告会の開催を独自提案されており、大きな効果が期待できる。
--	--	--